

「 感 謝 」

校 長 満 尾 吉 見

4月に本校に赴任し、早くも一年がたとうとしています。その間保護者や地域、関係の皆様には本校の教育活動、内容に多大なご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、昨年7月に「九州地区盲学校体育大会」第28回九州地区盲学校グランドソフトボール大会・鹿児島大会が中山にある鹿児島市ふれあいスポーツランドで開催され、熱戦が繰り広げられました。本校は主管校として企画・運営はもちろん、宿泊施設、移動手段等体育部の先生方を中心とした昨年度からの仕事ぶりには、今さらながら頭のさがる思いと感謝の気持ちでいっぱいです。

思い起こすと赴任したばかりで、初めての競技にルールもよく知らない私は、放課後グランドで「さあこい・さあこい・さあこい」の言葉と教師、生徒、休日には卒業生の先輩方「サツマレックス」の指導も受けながら一緒になって練習する姿に、本校の絆の太さを強く感じました。そして、試合当日となり、直前の震災で参加の心配された熊本盲学校も大分盲学校との合同チームで参加しました。試合は翌日からの天候不良が予測されたため、予定を変更して行われ、本校は1回戦で沖縄盲学校と対戦しました。全校児童生徒、保護者の方々、教師の応援の中熱戦が展開されましたが惜敗となりました。しかしその後、交流試合、ホテルでの交流会もあり選手、関係者全てまさに本大会の大きな目標「九州は一つ」を達成できたと考えます。最後になりますが大会役員、保護者そしてボランティア、審判員の方々に感謝申し上げます。



さて、以下は本校同窓会に寄稿させていただいた文章になります、創立百周年記念誌を読ませていただいて印象深く思ったことです。

昭和48年に本校が70周年記念を迎えるに当たって記念の物として、当時の職員がアンケートを取り、その結果実物に近い動物の塑像制作に決まったそうです。そして、代表8人の実行委員が選ばれ、作成が始まりました。しかし、試行錯誤の連続で動物園や鹿大農学部に行き写真を撮り、それを縮小して制作しましたが、セメントの配合具合で落ちてしまったり、骨格の木や鉄筋を入れたり大変な苦勞をされたそうです。そのような中で先生方が授業の空き時間を利用して、約1年間かけて完成させられたそうです。「完成したときの喜びは感無量だった」とあります。苦勞して制作された、すわった牛、立っている馬、子象、キリンの塑像は、移転した谷山校内の食堂入り口横に移築してあります。昨日、卒業生の方にお聞きしたのですが、小学生のときは背中に乗って遊んでいたそうです、それくらい頑丈にできています。初めて、本校を訪れた方はほとんどの方が「なぜ、ここにあるのですか」と聞かれます。そして、当時の先生方の熱い気持ちをお話しします。



3月卒業式を迎えると、高等部・専攻科生は社会へと旅立っていきます。本校で培った力を発揮してください。アフターケアの充実さも本校の特色です。

結びになりますが、皆様のご活躍とご健康を祈念してお礼とさせていただきます。

小 学 部

1月26日(木)に九州電力の方による出前授業を実施しました。様々な体験を通して、電気の仕組みを知ったり、地球環境問題や節電等について考えたりすることができました。子どもたちは、自転車をこいで発電し、扇風機を回す体験が特に印象に残ったようです。今回学んだことを今後の生活に生かし、子どもたちと節電に取り組みたいと思います。



中 学 部

2月3日(金)に中学部A組校外学習がありました。路線バスを使って市立科学館へ行き、プラネタリウム鑑賞と強風・地震等のアトラクション体験をしました。その後、市電で鹿児島中央駅へ移動してアミュプラザでおいしい昼食を食べました。ゆっくり買い物をしてからJRで学校に帰ってきました。たくさん歩きましたが、貴重な体験をし、楽しい一日を過ごしました。



高 等 部

2月3日(金)に校外学習がありました。今回は、生徒それぞれが設定したテーマについて仙巖園で調べ、鹿児島市の歴史について維新ふるさと館で学習しました。仙巖園では、「鹿児島紅」という梅を探して触察したり、「薩摩揚げ」についてインタビューしたりして積極的に活動することができました。また維新ふるさと館では、鹿児島の偉人や日の丸について再発見があり、様々な展示物を興味深く見学することができました。



乳幼児教育相談閉講式

2月16日(木)に乳幼児教育相談の閉講式がありました。今年は、3名の子どもが小学1年生になるため巣立っていきました。盲学校でのんびりゆっくり活動してきたことで、「見てみよう」「やってみよう」という気持ちが育ったように思います。できるようになったことが増え、自信もつながりました。閉講式では、とてもりりしい姿で修了証をもらうことができましたよ。

